

第37回

四つの男声合唱の集い



2017年5月3日(水・祝)

兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール

開場: 午後1時15分 開演: 午後2時00分

A アルマ・
マータ・
クワイア

N 南澤会
合唱団

C コール・
アカデミー
関西OB会

O 大阪男声
合唱団

R 六甲男声
合唱団

の

会

1 六甲男声合唱団

中村茂隆作品集より

1. 燃え上れやさしい海よ (作詩／以倉紘平)
2. 風の中で歌う空っぽの子守唄
一男声合唱とピアノのための (作詩／蔵原伸二郎)

作曲／中村茂隆
指揮／田中安夫
ピアノ／島崎央子

2 アルマ・マータ・クワイア

創立70周年記念委嘱曲

1. 少年時代 (作詞／井上陽水 作曲／平井夏美)
2. 琵琶湖周航の歌 (作詞／小口太郎 作曲／吉田千秋)
3. さらば青春 (作詞・作曲／小椋 佳)
4. さとうきび畑 (作詞・作曲／寺島尚彦)

編曲／篠田昌伸
指揮／梶田慶太
ピアノ／福島久仁子

3 南漣会合唱団

中島みゆき名曲集より

1. 地上の星 (編曲／加藤崇子)
2. 歌をあなたに (編曲／加藤崇子)
3. 糸 (編曲／加藤崇子)
4. 誕生 (編曲／下藺大樹)

作詞・作曲／中島みゆき
指揮／宮内 泰
ピアノ／石幸千照
ソプラノ／篠原真珠美
トランペット／橋本一夫



4 大阪男声合唱団

男声合唱とピアノのための 「新しい歌」

- I. 新しい歌 (G.ロルカ／長谷川四郎)
- II. うたを うたう とき (まど・みちお)
- III. きみ歌えよ (谷川俊太郎)
- IV. 鎮魂歌へのリクエスト (L.ヒューズ／木島 始)
- V. 一詩人の最後の歌 (H.アンデルセン／山室 静)

作曲／信長貴富
指揮／萩原寛明
ピアノ／内藤菜穂子

5 合同演奏

男声合唱曲集「関白宣言」より

- 1. 秋桜（コスモス）
- 2. 案山子（かかし）
- 3. 防人の詩（さきもりのうた）

作詞・作曲／さだ まさし
編曲／鈴木憲夫
指揮／山田 稔
ピアノ／石幸千照

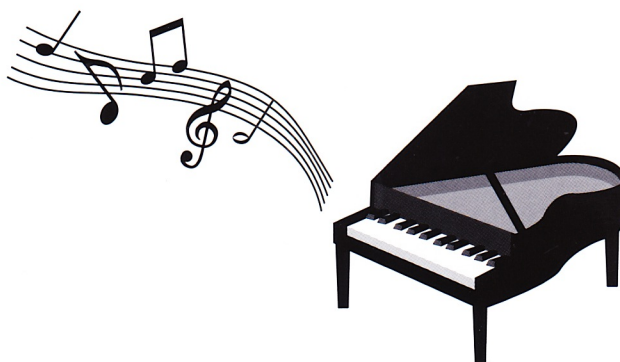
ごあいさつ

ゴールデンウィークさなかの本日、ご多忙中にもかかわらず、こんなに大勢の方々にお越しいただき、まことにありがとうございます。このコンサート、今回で37回を数えますが、一重に日頃の皆様のご支援があつて続けられたこと、心よりお礼申し上げます。

さて、今回のプログラム、ご覧になってお判りのごとく、全部日本人作曲家の作品が並びました。大変珍しいことです。各団体とも、熟年の団員が数多く在籍し、人生経験豊富、かつ円熟した歌声で、これらの曲目を歌い上げる所存でございます。ご期待頂きたい思います。

私ども、今後ますます研鑽に励み、一層の努力を重ね、さらなる美しい音楽を作り上げる努力を、続けてまいりたいと思います。引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

- | | | |
|---|---------------------|--------|
| A | アルマ・マータ・クワイア | 山下 千之 |
| N | 南漣会合唱団 | 尾崎 納 |
| C | コール・アカデミー関西OB会(休会中) | |
| O | 大阪男声合唱団 | 今村 陽一 |
| R | 六甲男声合唱団(本年度幹事団体) | 加輪上 敏彦 |



1 六甲男声合唱団**中村茂隆作品集より**

1959年夏、神戸大学グリークラブ合宿先の仙台で初演された男声合唱とピアノのための「風の中で歌う空っぽの子守唄」は、同じ年に初演された「三つの盆踊り唄」そして「未婚」「二月のテーブル」「小さな街が流れて来た」・・・と続く中村茂隆27才のときの作品で、男声合唱作品としての処女作になります。

中村茂隆は、当時、ブラームスの「アルトラブソディ」の抑制のきいた男声合唱の美しさを自分なりに捉えたいーとの思いから作曲に着手したと語っています。そして半世紀を経た今、また演奏されることに感慨深いものがある・・・と洩らしています。

次々と流れ出る抒情的な旋律は歌う者の心を強く捉え、テナー・ベースのソロ、そして伴奏以上の役割を担うピアノと共に一音一音を紡いでゆくこの曲は、当時の男声合唱界の新しい方向を感じさせるスケールの大きな作品でした。

身体の衰えを痛感しながらこの詩を書いた蔵原伸二郎の年齢をとくに超え、メンバーの大半が「後期〇〇〇」を自認せざるを得なくなった私たちですが、きょうは、詩の中に歌われる「もう何の願いもない、何の希望もない・・・」おじいちゃんではなく、老いてなお追い続ける生への願いを、そしてまだまだ思うところ多く涸れてしまっていないおじいちゃんを歌い上げたい、と願っています。

「燃え上がれやさしい海よ」は、上記一連の男声合唱作品の一つで6年後に書かれた作品です。

作詞の以倉紘平はこの時、詩というものが音楽になるということ初めて体験し、これをきっかけに本格的に創作活動に入り、後に詩の分野の芥川賞に匹敵する「H氏賞」を受賞しています。

この作品については「海は何かを産もうと身悶えるけれど、本来の海の死は覆い難い。弔いの鐘の響きが港町に流れ、降りしきる雨の中、人間の危機、警鐘が鳴り止まない・・・」と述べています。

あたかも祈りの歌のように降り続く雨の中、「海に見える坂道で美しい雨傘が燃え上がり、人々は燃えるように歌っていた・・・」と続き、曲は後半になって、ベースの「燃え上がれやさしい海よ」に呼応するかのように全パートが同じ言葉をリフレインして盛り上がりを見せます。そして「冷え切った白いお皿に貧しい魚が置かれていたレストランのテーブルに、今は輝く料理が置かれるように!」という切なる祈りの中、曲はクライマックスを迎えます。

2 アルマ・マータ・クワイア**「創立70周年記念委嘱曲」**

この曲は、アルマ創立70周年を記念して、団員が選んだ“青春に刻まれた思い出の11曲”から新進気鋭の作曲家・篠田昌伸氏に編曲していただいた4曲である。永年アルマの

客員指揮を務めていただいている東京混声合唱団桂冠指揮者の田中信昭先生からの呼びかけで生まれた素晴らしい男声合唱曲である。この3月5日の定期演奏会（いずみホール）において、田中信昭先生の指揮、福島久仁子さんのピアノで初演した。演奏後、大きな拍手のなかで、篠田昌伸氏もステージに立たれた。

篠田昌伸氏は、1976年生まれ、1999年東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、2001年同大大学院修士課程修了。第74回日本音楽コンクール作曲部門第1位をはじめ多数受賞。ピアニストとしても活躍。

1. 少年時代（作詞／井上陽水 作曲・編曲／井上陽水・平井夏美 1990年）
陽水独特の言葉「風あざみ」「宵かがり」「夢花火」とともに、少年時代の思い出が、季節の折々に、まるで美しい夢のようによみがえってくる「夏模様」の心。
2. 琵琶湖周航の歌（作詞／小口太郎 作曲／吉田千秋 1917年）
三高漕艇部の歌として生まれ、その後多くの人々に歌い継がれてきたこの歌は、今年が誕生百年にあたる。歌うたびに青春の心熱くなる我らが舟歌。
3. さらば青春（作詞作曲／小椋佳 1971年）
「はくは一呼びかけはしない」この歌がさっそうと歌い出された時、その潔さが印象的だった。若者は、心惹かれつつも、何に別れを告げようとしていたのか。
4. さとうきび畑（作詞作曲／寺島尚彦 1967年初演、2001年森山良子により完全版がCDに）
吹き抜ける風に波立つ美しいさとうきび畑。鉄の雨に打たれ死んでいった父を探し求める心は、「ざわわざわわ」と今も歌い続けずにはいられない。

今回は梶田慶太先生の指揮で演奏させていただきます。初演時より少ないメンバーでの演奏になりますが、平均74歳の青春の心から生まれる歌の世界をどうぞお楽しみください。

3 南漕会合唱団**中島みゆき名曲集**

中島みゆき（1952年～）は、1975年のデビュー以来現在に至るまで、約40年間に数々のヒット曲を送り出し、正に我々と共に人生を歩み続けているエンターテイナーと言えます。

歌詞の表現や曲想のイメージは中島みゆきでしか作りえない作品です。人との出会いと別れ、めぐり逢い、愛、恋、希望、勇気・・・など心に響く歌は幾世代にもわたって語り継がれることでしょう。

「地上の星」

NHKのテレビ番組『プロジェクトX～挑戦者たち～』の主題歌として視聴者に感動と勇気と不可能を可能にする強い信念を与えてくれました。地上にいるめだたない人々の努力が報われ、社会に貢献して光輝くのを願って歌います。その詩の抽象的な表現が、説得力をもって多くの人の心を捉えたのでしょう。

「歌をあなたに」

初のアルバム《私の声が聞こえますか》(1976年)の収録曲。

歌を歌おう、こころの限り、愛をこめて あなたのために…と歌います。

歌から勇気と元気が湧いてきます。

同じアルバムに収録されている『時代』と共に心に遺る曲です。

「糸」

人とのめぐり逢いと愛を「糸」に例えて構成されており、結婚式の披露宴でも良く歌われる曲です。縦の糸はあなた・横の糸はわたし・もちろん、恋人同士にも当てはまりますが、すべて人間は一人では生きていけるものではない。

私たちは長い人生の中で様々な人とめぐり逢い、助けられ勇気づけられ様々な愛の恩恵を受けて現在に至っています。いま自身を振り返ると感謝の気持ちで溢れるのは私だけでしょうか。

「誕生」

1992年にシングルリリースされたこの曲は 映画『奇跡の山さよなら 名犬平治』の主題歌として登場しました。失語症の少女とガイド犬として育てられる犬との交友を描いた作品です。

一人でも私は生きられるけど…でも誰かとならば人生は遙かに違う…

「自分の人生を振り返り、出会った様々な人へ『生まれてくれてありがとう』という想いが込められています。」

4 大阪男声合唱団

男声合唱とピアノのための「新しい歌」

男声合唱とピアノのための「新しい歌」は、5人の詩人の「うた」をテーマにした詩をテキストとして、信長貴富により作曲された。作曲者は楽譜のまえがきに次のように記している。

『私が今回の作曲で求めたのはひたすら「うた」だった。合唱曲が、あるいは合唱という媒体が、「うた」としての力を真に持ち得るのかということへ、私なりに挑戦したつもりである。』

1. 新しい歌

スペインの詩人、フェデリコ・ガルシア・ロルカ (1898～1936) は、そのリベラルな作品と言動のため、38歳の若さでスペイン内戦の際にファシストにより銃殺された。生命力と躍動感に満ち溢れたロルカの「うた」が、生き生きとした音楽で描かれている。

2. うたを うたう とき

104歳で世を去った詩人、まどみちお (1909～2014) の平仮名で書かれた素朴な詩。固定観念や既成概念に捉われずに紡ぎだされた「うた」こそが、人の心を深く感動させるのだろう。曲集の中で唯一、アカペラで作曲されている。

3. きみ歌えよ

谷川俊太郎 (1931～) の詩に作曲されたこの曲は大変人気があり、曲集の中でも特に演奏される機会の多い曲である。旋律主体のシンプルで明るい曲調が、詩の飾り気のない直感的なニュアンスと相まって、ストレートに心に響く「うた」となっている。

4. 鎮魂歌へのリクエスト

黒人文学の先駆けとなったアメリカの詩人、ラングストン・ヒューズ (1902～1967) の詩。「うた」は人種差別に苦しんだ黒人たちの生きる支えであった。曲はブルース調で書かれている。

5. 一詩人の最後の歌

デンマークの作家、ハンス・クリスチャン・アンデルセン (1805～1875) の詩。彼の自伝には「私の生涯は波瀾に富んだ幸福な一生であった。それはさながら一編の美しい物語である。」と記されている。人生を全うし天へ昇りゆく詩人の神への感謝の「うた」である。

5 合同演奏

男声合唱曲集「関白宣言」より

さだ まさし氏は日本中のだれもが知っているシンガーソングライター。タレント、小説家でもあります。1952年長崎市に生まれ、3歳からヴァイオリンを学び、1965年ヴァイオリン就学のため上京しましたが、ヴァイオリニストをあきらめた後、1973年にPopsの世界に入り1976年ソロ活動開始。ソロコンサートは現在4千回を超えました。今回演奏の3曲は20代の作品で、いずれも良く知られたヒット曲です。

「秋桜 (コスモス)」

アイドル歌手山口百恵の依頼を受け、1977年にリリースされた曲で、嫁ぐ娘が母親を想う楽曲です。1980年山口百恵引退後はさだ氏自身が歌っています。

「案山子 (かかし)」

1977年に発表された曲。遠く離れた都会で一人暮らしをする弟を、雪の中にポツンの立つ案山子になぞらえて、故郷に残った兄が気遣うメッセージを送る歌です。

「防人の詩 (さきもりのうた)」

1980年に映画「二百三高地」の主題歌として作曲されました。この映画は日露戦争の旅順攻囲戦における日露両軍の二百三高地攻防戦を描いた大作で、悲しい曲想と兵士たちの悲痛な心の叫びで、命のはかなさと尊さを歌っています。歌詞は「万葉集」第16巻第3852番に基づいて作られており、その大意は「海は死にますか 山は死にますか。死にます。死ぬからこそ潮は引き、山は枯れるのです。」というものです。



合同演奏指揮 山田 稔 (Minoru Yamada)

大阪府立桜塚高校音楽部指揮者を経て大阪市立大学グリークラブ指揮者。1968年(昭和43年) 大阪市立大学法学部卒業後は会社員勤務の傍ら、豊中混声合唱団・阪急東宝グループ男声合唱団で指揮・合唱活動。2005年(平成17年) から南澁会合唱団指揮者。高田三郎、鈴木憲男、清水脩氏等の邦人組曲を中心に、ミュージカル、ポップス等を愛する。モットーは「心で歌う」。



合同演奏ピアノ 石幸千照 (Chiaki Ishikoh)

大阪芸術大学を学費全額免除生として卒業。同大学芸術専攻科終了。卒業時、演奏学科研究室賞受賞。卒業演奏会、関西新人演奏会に出演。第1回大阪国際音楽コンクール入選。1999年秋期特別コースにて、A.イエンナー氏に、2001年マタイザー・ゾンマー・アカデミーにてG.ルードヴィッヒ氏に師事。また岡坂恭子、U.シュニーベルガー、平井令奈の各氏に師事。

2004年ジョイントリサイタル開催。2005年、関西フィルハーモニーオーケストラと協演。2006年、ロシアにて国立アカデミーオーケストラと協演。大阪芸術大学伴奏要員を経て、現在関西女子短期大学非常勤講師、ヤマハ音楽教室講師。南澁会合唱団、NHKコールマドリガル、金剛アマービレ、エトワールかしわら、女声合唱団ソルシェールのピアニストを務める。

ファニー・メンデルスゾーンクラブ大阪会員。全日本ピアノ指導者協会会員。

出演メンバー

六甲男声合唱団

43人

T1 小林和生 松岡茂雄	後久義昭	佐々木英洋	西本憲生
T2 赤司 健 川本昭男 花岡亜光	今西弘一 桐ヶ窪卓 丸尾嘉重	大隅国雄 肥塚禎夫	河原 達 寺井洋一
B1 浅野 洋 岡澤 徹 丹下豊吉 深井邦男 山本和洋	伊原吉之助 大谷 遷 藤澤隆博 山本 稔	浮田順一 加輪上敏彦 前田豊治 吉永豊彦	岡澤 徹 佐々木道治 松井嘉和
B2 東 尚良 岸田賢一郎 永井哲郎	石井陽一 田中安夫 長央徳太郎	井上和雄 坪内啓二 増川真澄	奥村 隆 徳重光彦 三木邦夫

南澁会合唱団

40人

T1 稲留雄一 長田幸一郎 森本真一	新 栄一郎 平松朋記	宝木健一 福家伸治	月川 兆 松波謙至
T2 今村 肇 白石太良 宮内 泰	大内 一 曹 明伸 山田 稔	尾崎 納 戸田 勝	白井清貴 長谷部資朗
B1 石原潤一 辻 秀郎 山内莊作	江尻竜優 出口順三 横田卓郎	太田一忠 服部栄治	瀧井尚志 花澤光正
B2 赤崎弘平 海谷叔伸 牟田岑男	今道隆夫 曾家義晴 森田 清	扇田 豊 田中彰一 安井 永	小倉 裕 松井繁明

アルマ・マータ・クワイア

43人

T1 上床博久 築村佳典 的場輝佳	大澤 孝 波多幸夫 山田裕史	日下部健介 林 茂紀	坂井俊朗 松浦 功
T2 芦田 寛 太田茂之 福田 伸	有井康夫 奥 泰夫 前田康夫	海上正彦 谷野敏雄 山本章夫	宇野日出男 辻垣淳一 吉里文雄
B1 上野晴夫 木本実美 多田 稔	香川 睦 小寺祥雄 野村美夫	角家義樹 佐藤建一 畑山勝明	北島政憲 杉本 修
B2 鮎川伸夫 富田勇一 山下千之	石橋克己 西岡 章 山下恒夫	川口義行 増田 博	竹山清明 森崎 実

大阪男声合唱団

45人

T1 栗山和郎 内田裕樹	上田勝己 中村隼人	高山裕二 仁木亮太郎	平木秀男 仲原尚吾
T2 子安一男 藤本好司 明渡 寛	名迫行康 詠田英夫 井上翔太	田村坦之 豊原 力 菅谷 俊	細谷正純 久米勝彦
B1 近藤 毅 荒木正雄 今井孝至	今村陽一 片桐知之 山田雅朗	田口孝人 中 雅之 池田直昭	榊田征也 橋本達弥 巽 祐介
B2 大島恵介 大海 治 本城正博 西山康之	中野洋介 松宮 啓 大和俊哉	江村和朗 望月和彦 坂田裕二	前川治治 佐々木泰介 上堀内武威

コール・アカデミー関西OB会(合同演奏に参加)

B2 鈴木節士 八木雅司

ANCOR